

令和2年度
第2回 栄区セーフコミュニティ推進協議会
災害安全対策分科会

書面により開催

報告

1 令和2年度災害安全対策分科会活動について

資料1

2 令和2年度地域防災拠点訓練実施状況について

資料2

令和2年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		小泉 信義	栄区副区長
		伊藤 ゆかり	栄区総務課長
		御所脇 佑介 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

報告 1

令和2年度 災害安全対策分科会の活動について

1 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシを使用した広報を行いました。

- ・区役所窓口での配布
- ・大船駅 PR ボックスでの配架
- ・栄消防署の防災訪問での配布
- ・総務課防災担当の出前講座での配布

2 「栄防災ノート」の作成・配布（新規）

家庭での災害の備えに関するヒントや避難行動の考え方、災害時情報収集方法などを確認しながら書き込みができる「栄防災ノート」を作成しました。

- ・規格について
A5 サイズ、フルカラー、8000 部印刷
- ・配布について
令和3年1月区連会でご紹介し、区役所、区内施設、地域防災拠点運営委員会などで配布していきます。

3 地域防災拠点への提言について

「報告2」参照

4 災害時要援護者支援の課題に向けた取組

各地域で要援護者支援の取組が進むよう、下記取組を実施しました。

- ・栄区内小中学校長に対して、概ね3教室を確保できるように依頼しました。
- ・災害時要援護者避難支援訓練を促進するため、自治会町内会に補助を行いました。
- ・要援護者支援をテーマとした出前講座の実施や、リーフレット「災害時要援護者支援ガイド」の配付、希望のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、支援の取組を推進しました。

報告 2

令和 2 年度地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進し、令和元年度からの5か年計画に基づく訓練実施項目の提言を行っています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の規模や回数の訓練を実施することができていません。次年度以降の提言については、感染症対策や今年度未実施項目を踏まえて見直しを検討します。

【参考 1】 地域防災拠点運営訓練 5 か年計画

年度	実施項目	備考
令和元年度	避難者受付、トイレ対策	済
令和2年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応	令和2年度の実施状況を加味して、計画の見直しを検討
令和3年度	区割り、炊き出し	
令和4年度	学校・企業等との連携・夜間訓練	
令和5年度	総合訓練の実施	

【参考 2】 令和 2 年度地域防災拠点訓練実施拠点及び実施項目（令和 2 年 4 月～12 月）

拠点名	訓練実施項目（○）					
	避難者受付	情報受電達	特設公衆電話	要援護者	トイレ	感染症対策（座学含む）
公田小	○	○	○			○
笠間小	○	○	○			○
桂台小				○		○
西本郷中		○				○
旧庄戸中	○	○	○		○	○
飯島小						○
桂台中	○	○	○		○	○
本郷小	○				○	○
小菅ヶ谷小	○	○	○			○
小山台小	○	○	○		○	○

（備考）

- ・ 訓練実施：10 拠点/20 拠点（12 月 11 日時点）
- ・ 訓練を実施した拠点では、新型コロナウイルス感染症対策の訓練、研修が行われた。
- ・ 従来の住民を広く募る規模での開催はなく、運営委員会を中心とした規模で行われた。